



ボウジンテックス 歩行用防滑骨材

ボウジンテックス 歩行用防滑骨材は、塗料1缶に対して、1瓶を混ぜてローラー塗装するだけで、防滑仕上げが可能です。硅砂散布で生じやすい骨材むらを起こさず、簡単・きれいに施工ができます。

用途

歩行時の防滑性が必要な床面

特長

- 添加型なので散布と違い、骨材むらが生じにくく、きれいに均一な防滑仕上げができます。
- 硅砂7号と同等の仕上がりになります。
- 1缶に骨材1瓶混合しますので、計量間違いがありません。



適合上塗材

| 製品名 | 樹脂名 |
|------------------|------------------|
| 水系 ボウジンテックス アルファ | 水系1液架橋型アクリル樹脂 |
| 水系 ボウジンテックス E | 水系2液型エポキシ樹脂 |
| プロアピアニ | 水系2液型アクリルウレタン樹脂 |
| ボウジンテックス #1000 | 溶剤系1液型アクリル樹脂 |
| ボウジンテックス #2000 | 溶剤系2液型エポキシ樹脂 |
| ボウジンテックス #5000U | 溶剤系2液型ポリウレタン樹脂 |
| ボウジンテックス #5400 | 溶剤系1液架橋型ポリウレタン樹脂 |

※中膜・厚膜タイプには適しません。

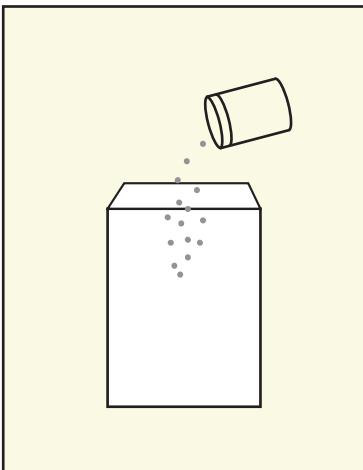
荷姿

1L ポリ瓶 (300g)

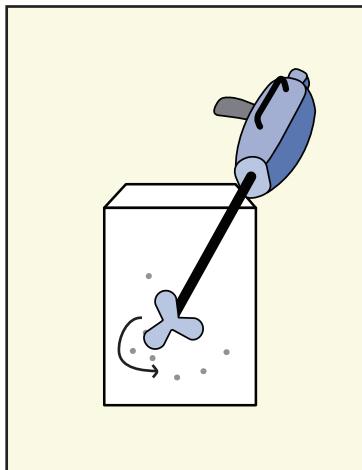
使用方法

上塗り1回目の塗料に対してボウジンテックス歩行用防滑骨材を投入し、上塗り2回目は骨材なしで塗装してください。

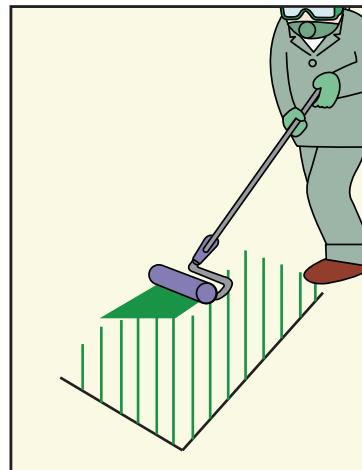
1 骨材を投入



2 搅拌



3 塗装



標準仕様

■ボウジンテックス #1000 が上塗りの場合

| 工程 | 使用塗料 | 希釈率 | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶セット) | 可使時間 (23°C) | 塗装間隔 (23°C) | | |
|------|--|--------------------|--------|------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------|-------------|------------------|------|
| | | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイターンや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずボリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含浸する下地面になるまで自粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシバテ等で充填する。 | | | | | | | | | |
| 下塗り | ボウジンテックス 強化シーラー 16kg | 0～10% (#5000Uシンナー) | ハケローラー | 1 | 0.12～0.16 | 100～133 | — | — | 4h以上 24h以内 | — |
| 上塗り | ボウジンテックス #1000 15kg 歩行用防滑骨材 0.3kg | 60～90% (#1000シンナー) | ハケローラー | 1 | 0.11～0.14 | 109～139 | — | 1h以上 | — | — |
| 上塗り | ボウジンテックス #1000 15kg | 60～90% (#1000シンナー) | ハケローラー | 1 | 0.11～0.14 | 108～136 | — | — | 4h以上 完全硬化1日以上 | — |

※塗付量にシンナーは含まれていません。

注意事項

- 骨材が完全に均一に混ざるまでよく搅拌してください。
- 搅拌後そのまま放置しますと、骨材が上層に浮いてきますのでローラーで混ぜながら塗装してください。
- 硅砂に比べ強度が劣るため、フォークリフト等重量物の運行用としては使用できません。